令和6年度 学校重点目標

4(よくできている)～1(できていない)の4段階評価の平均値

	令和6年度 重点目標	学校自己評価		令和6年度 振り返り
	本年度の重点取り組み目標	分掌内	分掌外	成果もしくは、改善の方策
総務部	校内、PTA等との連携を緊密なものとし、各学校行事が円滑に運営できるようにする。	3.30	3.00	県尼祭・体育大会においては、コロナ前に戻して行い、担当部署、PTAと連携を図り準備した結果、多くの保護者に来校していただきました。
	ホームページなど、情報の発信を丁寧に行い、中学生や保護者に対して、進学高等学校の選択のために情報を強化する。	3.54	2.81	ホームページでの情報発信は、昨年の技術的な問題を少し解消でき、各学校行事の更新ができた。オープンハイスクール・新学科説明会は、ほぼ予定人数で開催できた。
	欠席連絡業務の効率化のために学校と家庭の連絡がスムーズに行えるよう、連絡アプリの導入を行う。	3.50	2.98	連絡アプリの導入で、欠席連絡業務の効率化は少し図れたが、アプリの保護者登録方法に手こずり、学年に協力が必要となった。今後の運用方法に学年・保護者から意見を聞き改善する必要がある。
教務部	新学習指導要領に伴う選択科目の設定や評価について、見直しや改良を行い、よりよいものを目指す。	3.20	2.54	選択科目については選択時にモデルを示し、その中で選択させたい。新学期早々にガイダンスを実施し、夏休み前に希望調査を実施する。
	校務支援システムでの役割を細分化し、一人に負担がかからないようにする。	2.80	2.54	年度当初に校務支援システムでの教育課程の確認を行うこと。教務部のみならず、全教員が実施されている教育課程を知っておく必要がある。
	ICT機器をさらに活用するため、情報教育推進委員会と連携して、教員一人1台iPadを実現する。機器を活用した授業の推進を進める。	2.00	2.17	教員一人一台iPadを持つことが推進できていない。設定を含めて情報教育推進委員会に働きかける。
生徒指導部	時間やルールの厳守、通学時の交通マナーの改善、挨拶、言葉遣いの向上など、人として必要な基本的な生活習慣の確立を図る。	3.30	3.09	授業、部活動、学校行事時、放課後の空き時間等を利用し、全職員が生徒とのコミュニケーションを図ることに努めた。登校時の校門での立ち番、全校集会での指導を通じ、登下校時の交通マナーの向上を促した。結果、生徒の生活態度、基本的な生活習慣は概ね安定していた。
	未来に向けて自制心を養う。あらゆる場面において、自分で自分をコントロールし、社会性の確立を図る。	3.00	2.83	「自制心を養う」「社会性の確立」に関しては課題が多い。特にSNS上で「自制心」「社会性」の欠如から生じる生徒同士の間関係のトラブルは年々件数が増加している。通学時の交通マナーの悪さも「自制心」「社会性」と無関係ではない。より粘り強い指導が必要と思われる。
	学校行事、生徒会活動や部活動を通して、生徒自らが主体的に行動し、課題解決ができる場面を提供する。	3.28	3.09	文化祭、体育大会等の学校行事では、職員と生徒、保護者やPTA、その他多くの関係者が協力し実施することができた。部活動も各顧問の献身的な指導により、生徒の主体的な活動の場となっていた。地区大会を突破し、県大会に出場する部も増加し、生徒は自信を深めたのではないかと。さらに主体性のある活動を目指し、生徒が充実感、達成感を得られる場となるよう留意したい。